

## ネパールスタディーツアーを通して

参加してきました。

私にとって初めての海外でしたが、温かくフレンドリーな仲間たちと心強く頼もしい教授とともに、かけがえのない体験をすることができました。

ツアーの中でJICAの協力によって建てられた施設やプロジェクト現場の視察を行い、ネパールの社会状況や、日本のODAがどのような役割を持っているのかについて知り、

現在のネパールには何が必要なのか、様々な視点から考えることができました。

ネパールの水質問題や環境汚染問題など、日本と異なる点が多く、実際にその状況を目にしたことで、本質的なニーズに気付くことができました。その他にはIndependent Living Centerなども訪問し、社会福祉を専攻している私にと

って、ネパールの福祉問題はかなり大きなものでもあり、つらいものでもありました。

必要な支援がまったく行き届いていない現状、私たちが見せて頂いたものは氷山の一角に過ぎない事実が、非常に心苦しく、日本の社会福祉もまだまだ不足しており改善されるべき点が多いですが、それとは比べものにならないと感じました。

しかしながら、その現状を直視したことで、私たちにどのようなことができるのか、日本からの援助はどのようなものが望まれるのか、しっかりと向き合うことができました。

他には、観光都市ポカラに行き、ホーリーフェスティバルに参加したり、農村スティを行ったりと、ネパールを生活的・文化的な側面から見る事ができました。

いちばんの思い出は、ポカラにある遊園地で回転がはやすぎる観覧車に乗ったことです。日本では絶対に体験できないもので、もともと苦手だった絶叫と高いところを克服しました(笑)。

いきたいと思いましたが、心から、ネパールに行つて良かったと思います。ネパール最高！  
社会福祉学科3年 宗片都喜絵



このツアーを通して、自分の目で見て感じて得た学びが沢山あり、今後の学校生活だけでなく、人生においてこの経験を活かして